

認定権者記載欄		

様式第3-②

中小企業信用保険法第2条第5項第3号の規定による認定申請書（②）		
令和 年 月 日		
佐伯市長 富 高 国 子 様		
申請者 住 所 _____		
氏 名 _____		
私は表に記載する業を営んでいるが、 _____【注2】の発生に起因して、下記のとおり、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第3号の規定に基づき認定されるようお願いします。		
（表）		

※表には営んでいる事業のうち指定業種に属するもの（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日 _____ 年 月 日

2 売上高等

（イ）最近1か月間の売上高等

$\frac{B-A}{B} \times 100$

指定業種の減少率 _____ %（実績）

全体の減少率 _____ %（実績）

A：災害等の発生における最近1か月間の売上高等
（令和 年 月）

指定業種の売上高等 _____ 円

全体の売上高等 _____ 円

B：Aの期間に対応する前年1か月間の売上高等
（令和 年 月）

指定業種の売上高等 _____ 円

全体の売上高等 _____ 円

(ロ) 最近 3 か月間の売上高等の実績見込み	指定業種の減少率	% (実績見込み)
$\frac{(B + D) - (A + C)}{B + D} \times 100$	全体の減少率	% (実績見込み)

C : A の期間後 2 か月間の見込み売上高等

(令和 年 月～令和 年 月)

指定業種の見込み売上高等 円

全体の見込み売上高等 円

D : C の期間に対応する前年 2 か月間の売上高等

(令和 年 月～令和 年 月)

指定業種の売上高等 円

全体の売上高等 円

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

第 — — 号

令和 年 月 日

申請のとおり相違ないことを認定します。

(注) 信用保証協会への申込期間

令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

佐伯市長 富 高 国 子

【注 1】 本様式は、指定業種と非指定業種を兼業している場合であって、指定業種及び申請者全体双方の売上高等の減少率が認定基準を満たす場合に使用する。

【注 2】 _____ 【注 2】 には、「災害その他突発的に生じた事由」を入れる。

(留意事項)

① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた日から 30 日以内に金融機関又は信用保証協会に対して、保証の申込みを行うことが必要です。

(表 1 : 事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

業種 (※ 1)	最近 1 年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表 2 : 最近 1 か月間の売上高)

月	指定業種【A】①	全体【A】②
令和 年 月	円	円

(表 3 : A の期間の前年同期の売上高)

月	指定業種【B】①	全体【B】②
令和 年 月	円	円

(指定業種に係る最近 1 か月間の売上高の減少率)

$$\frac{\text{【B】① 円} - \text{【A】① 円}}{\text{【B】① 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

(全体に係る最近 1 か月間の売上高の減少率)

$$\frac{\text{【B】② 円} - \text{【A】② 円}}{\text{【B】② 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

裏面あり

(表 4 : A の期間後 2 か月間の見込み売上高)

月	指定業種【C】①	全体【C】②
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

(表 5 : C の期間の前年同期の売上高)

月	指定業種【D】①	全体【D】②
令和 年 月	円	円
令和 年 月	円	円
合計	円	円

(指定業種に係る最近 3 か月間の売上高の見込み減少率)

$$\frac{(\text{【B】① 円} + \text{【D】① 円}) - (\text{【A】① 円} + \text{【C】① 円})}{\text{【B】① 円} + \text{【D】① 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

(全体に係る最近 3 か月間の売上高の見込み減少率)

$$\frac{(\text{【B】② 円} + \text{【D】② 円}) - (\text{【A】② 円} + \text{【C】② 円})}{\text{【B】② 円} + \text{【D】② 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

上記のとおり相違ありません。
申請者の名称及び代表者名

金融機関・税理士等

印

印

※なお、金融機関・税理士等の署名捺印がない場合には、各月売上高を確認できる資料（試算表、売上台帳等）が必要となります。